

令和元年度 連携・協力事業の実施状況について

教職大学院専門部会

【プロジェクト名】 実践的指導力向上事業

1 プロジェクトの目的・概要

教職大学院専門部会は、佐賀県教育委員会と佐賀大学大学院学校教育学研究科（以下、「佐賀大学教職大学院」）の連携・協働により、「学び続ける教師」の育成を目指すとともに、佐賀県における教職員の生涯学習システムを構築していくことを目的とする。

そこで本事業では、高度専門職業人養成として教員養成に特化した佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会がお互いの教育資源を有効活用しながら、佐賀県の教育課題解決に取り組む探究心の醸成や実践的指導力の向上に取り組む。

そのために、佐賀大学教職大学院から佐賀県教育委員会には「教員研修講座」を提供し、佐賀県教育委員会から佐賀大学教職大学院には「ゲストティーチャー」を派遣する。

2 令和元年度の実施状況

(1) 佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会の連携による実践的指導力向上を目指す「教員研修講座」を以下のように実施した。

①鳥栖サテライトキャンパス「教員研修講座」

日程：令和元年度12月27日(金)13:00～16:30

会場：鳥栖市立図書館2階「視聴覚室」（鳥栖市布津原町11-21）

内容：実践発表1「ユニバーサルデザインの考えに立った授業づくり」

（鳥栖市立鳥栖西中学校 主幹教諭 杠 光）

（鳥栖市立麓小学校 主幹教諭 副島 勝彦）

（鳥栖市立旭小学校 主幹教諭 今村 昇治）

実践発表2「思考・表現スキルに着目した授業づくり」

（鳥栖市立田代中学校 教諭 奥園 智恵子）

講義「学習環境デザインと熟達から考える学力の向上」

（佐賀大学教職大学院教授 佐長健司）

参加：39名

②本庄キャンパス 『学び続ける教員セミナー』～育成指標に基づく資質能力の向上～
(2019年度NITSカフェ委託事業【NITSカフェ in 佐賀】)

日程：令和元年12月21日(土)13:30～17:00

会場：佐賀大学教育学部1号館 多目的室

内容：第1部 講演『教員のライフステージと学び続ける教員像』

（講師 兵庫教育大学教職大学院 准教授 川上泰彦）

第2部 ワークショップ

（ファシリテーター 佐賀大学教職大学院教授 上野景三）

グループワークによる意見交換およびグループ発表

講評：佐賀県教育委員会教育振興課課長 宮崎耕一 様
 佐賀市教育委員会学校教育課課長 松島正和 様
 西九州大学子ども学部長 高尾兼利 様

参加：57名

③教育センターでの研修（7講座）に佐賀大学教職大学院の教員が講師として参加

※表1参照

表1. 佐賀大学教職大学院教員による教育センターでの研修

講師	研修講座名	研修内容	日程・受講者数
中島 秀明	県立学校新任指導教諭研修	学校組織マネジメント -ミドルリーダーが果たす役割と課題への対応-	2019/6/12 (水) 13人
日野 久美子	新任通級指導教室担当教員研修	LD/ADHD通級指導教室に通級している児童生徒の理解と支援について	2019/4/26 (金) 18人
	WISC-III及び WISC-IVによるアセスメント分析講座	① 「日本版 WISC-III及び WISC-IV知能検査法」の活用目的と構成 ② 「日本版 WISC-IV及び WISC-III知能検査法」の結果の分析と検査結果を生かした支援の在り方	2019/7/4 (木) 61人
下田 芳幸	教育相談（カウンセリング）講座	① カウンセリングの理論 ② カウンセリング演習	2019/8/28 (水) 13人
米田 重和	小学校算数科II講座 （主体的・対話的で深い学びの実現に向けた質的改善のプロセスと実際）	① 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業の質的改善の在り方 ② 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりの課題と手立て	2019/8/1 (木) 70人
岡 陽子	小・中家庭科講座 （新しい家庭科の授業づくり）	① 新学習指導要領が目指す新しい家庭科の授業 ② パフォーマンス課題の作成と検討	2019/8/22 (木) 14人
堤 公一	養護教諭III講座 （児童生徒の心身の健康を育む保健教育）	効果的な保健教育の進め方	2019/12/6 (金) 41人

(2) 佐賀大学教職大学院授業科目へ佐賀県教育委員会の指導主事やスーパーティーチャー等を「ゲストティーチャー」として以下のように派遣した。

① 前期水曜日 3 校時：共通必修科目「現代的な学力観と授業実践の基礎と課題」

授業テーマ：「佐賀県の学力調査に見る学力の状況と課題」

(6月5日(水)、佐賀県教育センター 副島和久 副所長)

② 後期月曜日 4 校時：共通必修科目「教科等における I C T利活用の基礎と課題」

授業テーマ：「I C T利活用教育の推進に関する佐賀県教育委員会の取り組み」

(10月21日(月)、佐賀県教育庁学校教育課教育情報化支援室 藤原英則 指導主事)

授業テーマ：「学校教育における教育の情報化（新指導要領の動向を踏まえて）」

(10月28日(月)、佐賀県教育庁学校教育課教育情報化支援室 栗本洋二 係長)

(成果)

教員研修講座においては、今年度もサテライトキャンパスのある鳥栖の市教育委員会と連携・協働して、開催できたことは大きな成果といえる。参加者の感想には、「学び続ける目的が明確になった」、「学習環境のデザインについて理解することができた」、「実践的な授業づくりの案について、今後活用していきたいと思う」など、研修の中で最新の知見や具体的な教育実践例に触れたことで、今後の実践へのヒントになったという声が多かった。また、教育センターで行われた研修に教職大学院の教員が6名講師として参加し、算数や家庭科、教育相談や特別支援教育などで最新の知見や授業実践に活かせる研修を提供することができた。

一方、佐賀大学教職大学院授業科目には2名のゲストティーチャーをお招きし、佐賀県の学力状況、I C T利活用教育の背景や意義について、教育実践の最前線にいる講師から学ぶことができ、意義深い時間となった。

以上のことから本事業の成果として、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会がお互いの教育資源を有効活用しながら、共に「学び続ける教員」を育むことができているといえる。

(課題)

今年度は、昨年度の課題であった開催時期や内容等について大学院と教育委員会で十分に検討を行い、現場のニーズに沿った研修となるように努めた。また、教育センターで行われる研修についても、大学院教員の専門性に関する情報を関係者で共有し、7講座に研修講師として参加した。次年度も、今年度の研修で得られた受講生の声を参考にし、開催時期や内容等の検討を行い、教員の実践的指導力を向上するための機会を提供していきたいと思う。

また、教員研修講座の意義を高めるために、今後も継続してサテライトキャンパスのある各市教育委員会との連携・協力体制を強化し、教育活動および修学活動のさらなる充実を図っていきたい。

3 今後の予定等

- ・佐賀大学教職大学院で、今年度の教員研修講座の成果と課題を踏まえ、来年度の実施計画案を作成する。
- ・次年度に向けて、来年度の実施計画案をもとに佐賀県教育委員会及び唐津市教育委員会、武雄市教育委員会、鳥栖市教育委員会の関係者との打ち合わせを行う。